



産業工学科

発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地

課題研究発表会

1月24日(火)に産業工学科の課題研究発表会を行いました。3年生が1年間かけて研究や製作を行った成果を、それぞれの課題グループ毎にパワーポイントを使って発表し、また、デザイン系統の生徒は自分で企画・制作した衣装を身に付け、会場の見学者に披露しました。



課題研究を行った生徒たちにとっては、初めて触れるテーマがほとんどであり、グループの仲間で協力して完成させたという成果に対し、大きな達成感を感じていました。



【平成28年度課題研究テーマ】

Table with 2 columns: System (Mechanical, Design) and Research Topics (e.g., Robot control, Lens making, Air hockey).

(★は合同発表会に選ばれた研究)



2月10日(金)に弥栄分校で行われた専門学科課題研究合同発表会では、本校で選ばれた3つの研究を発表しました。課題研究で学んだ知識や仲間たちと協力する気持ちを、卒業後の各々の進路でも生かしてほしいと思います。



Peak High Exhibition (峰高展) information including dates (Feb 18-19), times, and participating departments (Music, Art, etc.).

2年生 ポリテクカレッジ京都にて校外実習



2月1日(水)産業工学科機械系統の2年生30名が舞鶴にあるポリテクカレッジ京都において、「ラズベリーパイ」というソフトを使いパソコンでカメラを操作する体験実習と講義を受講しました。生徒達はプログラムの入力に苦労している様子でしたが、カメラが丸い物に反応したり、顔を認識したりすると嬉しそうな笑みをこぼしていました。学校の説明や学生が製作した作品を見学させて貰う中で、この学校に興味関心を持った生徒もいました。

産業工学科ではさまざまな活動を行っています!

2年 人権学習「同和問題に学ぶ」

2月9日(木)の6、7限に、「同和問題」を題材に人権学習を行いました。中世のケガレ感から始まり、日本の歴史の中で長く続いてきた部落差別について学びました。水平社宣言や同和対策事業などさまざまな取組や努力により現在ではかなり解消しているものの、まだ残っている現実を知り、なぜ差別はなくなるのか、どうすれば差別をなくすることができるのかを考えました。生徒たちには人権問題についてしっかり学んで正しい知識を身につけ、偏見を持たず、世間体にもどわされず、関心を持ち続けることで差別解消につなげてほしいと願っています。

生徒の感想

部落差別の成り立ちが分かった。差別をしないといけなかった時代があったこと、差別意識をなくするための方策がとられるまでが長かったことを知った。また、差別する対象があることによって、安心する人もいたことも知った。誤った知識や偏見をもつことや、無関心であることによって差別がなくなるので、関心を持つことが大切であると感じた。

グローバルネットワーク京都交流会(府立高校特色化事業)

2月4日(土)にグローバルネットワーク京都の指定を受けている9校の交流会が京都学園大学京都太秦キャンパスにて開催され、本校からは20名が参加しました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、一生懸命に発表をしていました。また、帝塚山学院大学客員教授で朝日放送の「おはようコールABC」コメンテーターでもある中川謙氏による講演「難民問題と国際情勢-3人の「17歳」の追憶から-」も聴くことができ、一日を通して多くのことを学ぶことができました。

提言発表I(プレゼンテーション) テーマ「持続可能な国際社会への展望」

本校からはESSのメンバーが「電子機器廃棄物を減らすために」と題して英語で発表をしました。身振り手振りも加えながら堂々とスピーチができました。



「マナーとグローバル化」

提言発表II(ポスターセッション) テーマ「持続可能な国際社会への展望」

本校からは3グループが発表しました。3分間で自分たちの意見を発表した後の質疑応答では質問に対してもしっかり答えていました。

①広瀬瑞月さん(1年 丹後中出身) 吉岡和さん(1年 大宮中出身)

英語で発表を行いました!

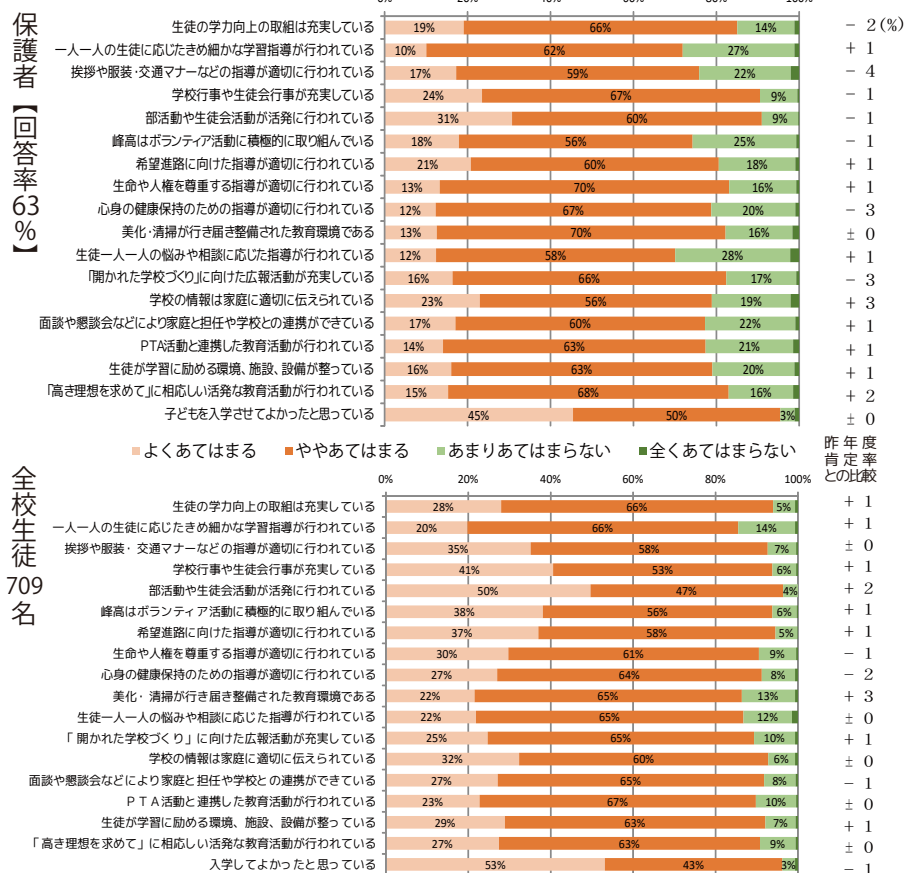
「地球温暖化とわたしたちの未来」

②梅田千咲さん(1年 峰山中出身) 青木舞雪佳さん(1年 網野中出身)

「もったいない世界」

③小石原瑛斗さん(2年 網野中出身) 杉本岳大さん(2年 久美浜中出身) 白江勝行さん(2年 大宮中出身)

学校評価アンケート結果



保護者 まとめ: 回答率は昨年度より6ポイント低下した。18項目の肯定率は9項目で上昇し、7項目で下落したが、「よくあてはまる」という積極的な肯定率は多くの項目で上昇した。また、「入学させて良かった」は一昨年度が93%、昨年度と今年度が95%で高い比率を維持している。肯定率90%を超えた項目は「学校行事や生徒会行事」「部活動や生徒会活動」及び「入学させてよかった」であり、80%を超えた項目は「生徒の学力向上」「進路指導」「生命や人権」「美化・清掃」「広報活動」及び「高き理想を求めて」であった。肯定率70%に達しなかった項目はなかった。

生徒 まとめ: 18項目の肯定率は9項目で上昇し、4項目で下落したが、肯定率が80%台であった「きめ細かな学習指導」「美化・清掃」の項目は上昇した。「よくあてはまる」の積極的な肯定率は上昇している項目が多く、特に「部活動や生徒会活動」は9ポイント、「学校行事や生徒会活動」は4ポイント上昇した。「入学してよかった」の肯定率は96%という高い数値であった。